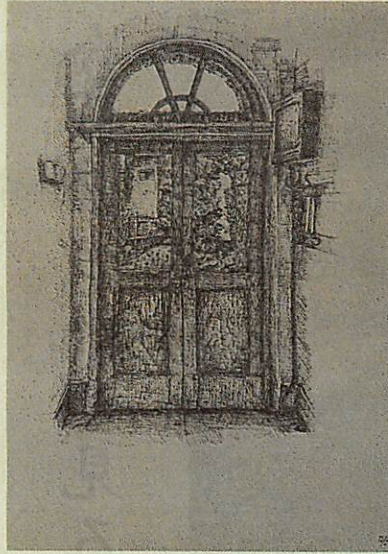
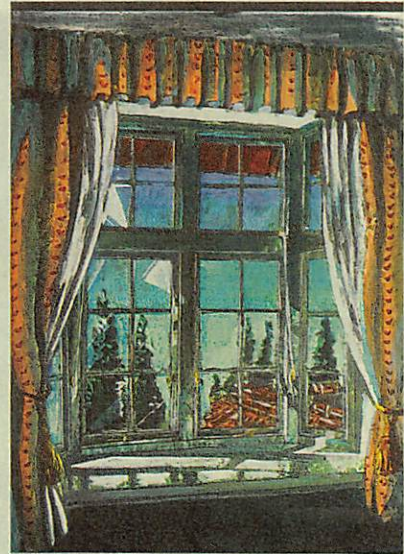




「屋根」 桐生高校3年 熊谷美彩
(F4、透明水彩絵の具・鉛筆)



「扉」 桐生女子高校3年 中根叶夏
(丸ペン・パステル)



「光」 桐生高校3年 濱名美叶
(F4、鉛筆・油絵の具・アクリル絵の具)



「桐生倶楽部スケッチ1 裏門の扉の絵」
桐生女子高校3年 仁居舍ゆうか



「窓」 桐生女子高校3年 斎藤風花
(F6、油絵の具)

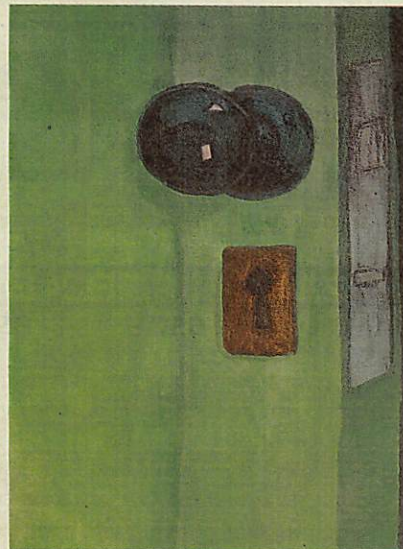
高校生が描いた 100歳の桐生倶楽部会館

桐生真楽部桐生市仲町一丁目、森壽作理事長は現在、ホームページ内でウエブ作品展「高校生が描く桐生倶楽部会館100歳の姿展」を開催している。県立桐生高校美術部の3人と桐生女子高校芸術美術班の11人が、昨年末に同会館を訪れ、それぞれの視点で描いた作品の数々を、現役高校生が1918(大正7年)に創建された建物に、何を感じ、それをどう表現したのか。今回、両校や桐生倶楽部の協力を仰ぎ、その表情豊かな素描を紙上で紹介する。桐生倶楽部のホームページでは、生徒のコメントや自由テーマの作品なども紹介している。(敬称略、続きは24日4面に掲載)

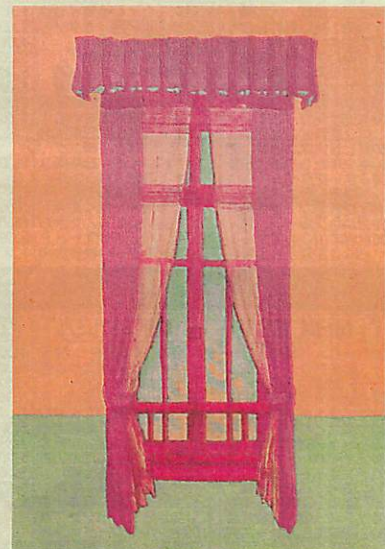
桐高・桐女美術部紙上作品展



「窓辺」 桐生高校3年 松永英み
(F4、水彩画)



「扉」 桐生女子高校3年 柿沼乃愛
(ポスターカラー)



「窓」 桐生女子高校3年 山本多恵
(アクリル絵の具)